学校番号	１１５

平成３１年度　音楽科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年	３年
類型等	文型（選択）						
使用教科書	改訂版「高校生の音楽３」　（音楽之友社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「音楽」という教科は、さまざまな能力を必要とします。

「音楽Ⅲ」においては、全体授業・グループ活動・個人活動を通じて①行動力②コミュニケーション力③責任能力④（自己）表現力⑤共働力を育てることを目標とします。表現することへの柔軟性を養い、自己表現のキャパシティを広げられるような段階的な題材設定に考慮します。自身の感性に目を向け、表現の可能性・多様性、自己表現について考察（実践）します。

音を能動的に「聴く」ことを基本におき、他者と演奏面でのコミュニケーションをとるために、積極的に行動してください。
得意・不得意に関係なく、諸活動に積極的に参加することで、自己表現能力も培われていきます。

2　学習の到達目標

「音楽Ⅰ・Ⅱ」の内容を発展させ、器楽、歌唱の技術を高めるとともに、多様なジャンルの鑑賞や演奏を通して豊かな感性を養い、幅広い音楽観を身につけることを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート 筆記試験	観察 ワークシート 筆記試験 実技試験	演奏の聴取 提出作品 実技試験	観察 ワークシート 筆記試験

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	演奏とイメージ	【　歌唱　】 校歌 混声２部合唱 『ｔｏ　Ｕ』 作詞：桜井和寿 作曲：小林武史	○	○	○		a:演奏する喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように演奏するか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱・演奏技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
	弦楽器に挑戦しよう	【　器楽　】 三線 ギター	○	○	○		a:三線・ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。 b:表現したいことの特徴を知覚感受し、表現を工夫している。 c:三線・ギターの基礎的な演奏技能、リズム譜を読譜し表現するために伝える技能を身につけ、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
2学期	外国語の歌	【　歌唱　】 Ｊ．ラター作曲『Tomorrow shall be my dancing day』 『Ｈｅｙ　Ｊｕｄｅ』 作詞：Ｊ．レノン 作曲　Ｐ．マッカートニー	○	○	○		a:曲想や、楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、ラテン語・英語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
	鑑賞のファーストステップ	【　鑑賞　】 バレエ・リュスと芸術家達 火の鳥 ペトリューシュカ 春の祭典 （ストラヴィンスキー）	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、舞踊、舞台美術や衣装、文学を含めた総合芸術を鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

３学期	音楽会	【　器楽アンサンブル　】 『Ｈｅｙ　Ｊｕｄｅ』 作詞：Ｊ．レノン 作曲　Ｐ．マッカートニー 【　歌唱　】 混声３部合唱	○	○	○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための演奏技術を身に付けている。	観察 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。